

桑原地区まちづくり協議会設立準備会とは...

より住みやすい「くわばら」を作るため、桑原地区(東野、正円寺、樽味、桑原、畑寺、三町、松末、東本)の様々な組織・団体が団結して「まちづくり」について話し合いを進めている組織です。

～ご意見・ご感想も随時募集中～

ブログ開設

<http://ameblo.jp/kumabara/>

会議の様子やイベント情報も掲載!!
ぜひアクセスを!!



自主防災組織100%結成!

市内各地区で普及が進んでいる自主防災組織が、桑原地区で本年5月に結成率100%(22組織)を達成しました。これも地域の皆さん方のご協力によるものです。

これからは各地の自主防災組織が互いに協力して、すべての災害に対し防災・減災に努め、災害被害のない「明るいまちづくり」に向かって進むことを期待しています。



松山市自主防災組織ネットワーク会議
桑原地区代表 池 東雄

● 最近の準備会の動き ●

- 7月 1日 まちづくり通信VOL.3発行
- 7月 16日 設立準備会開催(第15回)
- 7月 21日 桑原史跡めぐり(第2回)
- 7月 26日 桑原地区サマーカーニバル協賛
- 8月 1日 コミュニティ推進地区意見交流会



市長も出席して7地区が意見交換

- 8月 4日 地域教育会議(学校支援地域本部事業)開催
- 9月 24日 コミュニティ推進地区事務局会議
- 9月 30日 協議会設立準備会(第17回)

● 今後の予定 ●

- 10月 1日 まちづくり通信VOL.4発行
- 10月 26日 桑原史跡めぐり(第3回)予定
- 10月 27日 以降随時、協議会設立準備会開催予定
- 1月 1日 まちづくり通信VOL.5発行予定
- 1月 下旬 桑原史跡めぐり(第4回)予定
- 3月 下旬 協議会設立の住民決議予定

松山東雲女子大学・同短期大学との連携

前号では愛媛大学農学部のご紹介をしましたが、協議会準備会の会議には松山東雲女子大学・同短期大学からも学務部次長の松野さんに出席していただいています。

今後、松山東雲女子大学へは、愛媛大学同様にまちづくりへの参加、協働を働きかけていきたいと考えていますが、大学側からも学生の参加について前向きなご返事をいただいております。さっそく7月に開かれた桑原サマーカーニバルでは2名の学生さんが、まちづくりの広報パネルの展示、模擬店設営やそばめし販売のお手伝いをしてくださいました。

お二人はサマーカーニバルへの参加自体初めての経験だったようで、手伝いのかたわら会場内の模擬店めぐりを楽しんでくれていました。



パネル展示の手伝い

模擬店飾り付けの手伝いも...

東雲祭のご案内

11月8日(土)、9日(日)の2日間(10:00~16:30)、桑原町キャンパスにおいて東雲祭を開催します。地元のみなさんも是非来てくださいね。



まちづくりは、行政と各種団体のそれぞれの特長や意見を出し合って進めておりますが、もう一步、みんなが協力して住みよいまちづくりになるよう期待しておりますので、皆様方のご協力をお願いします。

副会長 井手 伊都子(樽味)

役員紹介



まちづくりの第一歩は人づくり、未来を見据えた協議を通して相互の親睦を深め、活力ある桑原の発展に貢献出来るように頑張りたいと思います。

事務局長 朝山 和孝(畑寺)

<p>1 去る7月21日「東野下史跡めぐり」に参加していたくまばらさん</p>	<p>2 いつも何気なく見ている景色にひとつひとつ物語があったとてますます楽しいものだと思ふく</p>
<p>3 参加者の皆さんも楽しそう、くまばらさん也大感激、忘れないうちにメモをとった</p>	<p>4 一方のウサギはくまばらさんから今日の話を聞いて感激、次は一緒にいきたいと思つたのでした</p>

くまばらさん

第1回 地域教育協議会

「学校支援地域本部」の開催

本年度から学校支援地域本部の取組みに参加している桑原地区では、10月からの本格的な始動を前に、8月4日に第1回目の地域教育協議会を開催しました。この会は、『桑原地区学校支援地域本部』の母体となるもので、桑原小中学校長・桑原小中PTA会長・桑原公民館長・まちづくり協議会準備会役員等で構成され、地域として学校が抱える様々な問題に対し、地域が持つ総合的な教育力で、青少年の人間形成の一翼を担う活動を支援することを目的としています。

協議会では今年度の活動計画として、各種事業計画案の承認、地域コーディネーター(小中学校の支援活動にかかる企画・立案・啓発)の選任方法、学校支援ボランティアの募集等について協議を行いました。

この事業を通して、まちづくりの支援・地域住民の応援があれば、学校を主会場とした交流の和が広がり、地域全体の活性化(人材発掘)にも繋がるものと考えます。地域住民の皆様のご協力に期待するところが大きですが、今後、機会ある度に広報してまいりますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

地域教育協議会事務局 朝山 和孝

ブログの活用で中学校と連携

桑原中学校柔道部は、今年も全国中学校総体で素晴らしい成績を取ることができましたが、この件に関して、先々月、卒業生宅に見知らぬ人から寄附を求める電話が入るといった悪質な事件が発生しました。学校側では、そのような寄附活動を行っていなかったため、準備会に『くまばらさんブログ』での被害防止の呼びかけをお願いしたところ、速やかに対応して頂き、実害も無く事無きを得ました。ありがとうございました。今後も『くまばらさんブログ』を情報交換・発信の場として活用し、みんなの力で、より良い桑原にしていけたらいいなと考えています。

桑原中学校 PTA会長 犬飼 利明



淡路ヶ峠遊歩道へ助成金



遊歩道整備管理協議会では、中村松山市長が掲げるフィールドミュージアム構想の一環である、同ミュージアム支援事業に応募し、今年度分、20万円の助成金を受けました。

この助成金に自己資金を加えて、淡路ヶ峠頂上へ至る登り口等への看板設置や峠を含む史跡、遺跡を網羅した遊歩マップを作成する予定です。

RNBラジオの取材も受けました 淡路ヶ峠遊歩道整備管理協議会 会長 戒田 平人

シリーズ 隣の芝生③

～地元学への誘い～

「地元学」。聞き慣れない言葉ですが、自分たちが住んでいる地域の「あるもの(個性・魅力)」に気づき、自分たちの力で素晴らしい地域を創っていかうとする活動で、水俣病被害をきっかけに環境都市へと発展した熊本県水俣市で始まりました。



具体的には、「土の人(地元の人)」と「風の人(外から地元の良さを気づかせ、地元の活動を応援する人)」が地域を歩き、写真を撮ったり地元の方に取材をしたりして「地域のあるもの探し」を行います。

桑原地区で「地元学」が行われ、今まで気づけなかった事実に驚き、それはなぜだろうと考えるようになれば、よりよいまちづくりにつながるのではと期待しています。

広報部 新藤 博之

おまけ

東京コミュニティ事情

準備会ボランティア・スタッフ(市職員)の中島です。派遣先の東京より、都心のコミュニティ事例を紹介します。

新宿区四谷では少子化のため廃校することとなった小学校を地域住民が借り受け、世代・団体を越えた交流施設「四谷ひろば」として運営しています。都会の人もがいなことするもんじゃとたまげました。

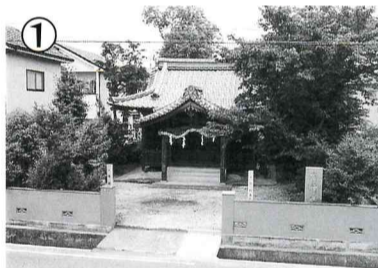
ボランティア・スタッフ 中島 敏喜(東京事務所付)



正円寺地区の史跡関係図

桑原地区の史跡めぐり③

～正円寺～



竈神社

かまどじんじや
① 竈神社
愛媛大学農学部前から東200mの道路ばたにある、このお宮は、奥津彦命・奥津姫命を祭神とする竈神社、須賀神社、奈良原神社、この地方の豪族であった沢田右衛門を祀る沢田神社を合祀しています。



正円寺の山門/地主大権現

しょうえんじ
② 正円寺
竈神社から東300mの所にあり、貞享年間(1684～1687年)松山藩の松平佐内が建てた石手寺の末寺で、ご本尊は観世音菩薩。山門は松平定行公が万治元年(1658年)東野に隠居した時、松前城の門と庭石をこの寺に寄進されたものと伝えられています。境内の丘に、地主大権現が祀られています。



正円寺公園(燈籠ヶ池跡)

とうろうがいけあと
③ 燈籠ヶ池跡 正円寺公園
昔から大切なため池で農家がこの池を管理する為に、燈籠の油代の名目で、維持費を出し合っていました。戦後、田畑も宅地となり、この池の任務も終わったため、昭和45年に埋め立て「正円寺公園」となり、町のいこいの場となっています。



大福寺/お地藏様・歴代住職のお墓

だいくじ
④ 大福寺
正円寺の東に、南北に通じる県道「道後・久米線」にそって200m南の、道から少し入った所にあり、延宝8年(1680年)普観和尚によって開かれたお寺。最近整備されたお堂には、本尊円通大師の仏像と初代・2代・3代和尚の位牌が祀られ、境内にはお地藏様や歴代の住職の墓が建てられています。

編集後記

まちづくり協議会結成の準備が進捗しております。より住みよい「くわばら」をつくるためのご意見・ご感想をご提供願います。稔りの秋! ご健勝にて日々好日に!!

広報部 奥田 和久

史跡めぐりのご案内 正円寺地区

10月26日(日)9:00～2時間程度
正円寺バス停前にご集合下さい。
参加自由。小雨決行。

